

Safety Info.

インフォメーション②

全国大会終了後も各地域で継続している
二輪車安全運転大会

1968年から毎年開催されてきた二輪車安全運転全国大会（主催：（一財）全日本交通安全協会二輪車安全運転推進委員会）は昨年の第50回大会で終了となったが、今年は全国で半数強の都道府県大会の実施が予定されている。また、二輪車安全運転 特別指導員/指導員の有志を中心に、県の枠を越えて参加者を募り大会を行うという計画もある。

5月27日、「第48回二輪車安全運転東京大会（主催：警視庁交通部、（一財）東京都

交通安全協会、（一社）日本二輪車普及安全協会）」が警視庁府中運転免許試験場で開催された。同大会は、ライダーの安全運転技術の向上と交通安全意識の高揚を図り、二輪車による交通事故を防止することを目的としている。出場クラスはA（排気量401cc以上）、B（同251cc以上400cc以下）、C（同51cc以上250cc以下）、D（同50cc以下）の4つに分かれ、各クラスに該当する二輪免許を取得していれば、年齢・性別を問わ



S字転回バランス走行

ず大会に出場することができる。今大会には総勢89人がエントリーした。

開会式では主催者である警視庁交通部の交通総務課長 中村彰宏さんが「本大会は昨年までは全国大会の予選として開催していました。全国大会は終了となりましたが、東京都内は二輪車の交通事故が多いということもふまえ、都独自で大会を実施することとしました。本大会を通じて、二輪車の安全運転の輪がより大きくなり、二輪車事故の減少につながることを期待しています」と挨拶した。

参加者は「法規走行」「ブレーキング（制動）」



応用一本橋走行



法規走行



ブレーキング（制動）



Aクラス第1位となった千田安夫さんをはじめ、各クラスの入賞者が表彰された

Safety Info.

インフォメーション③

さらなる安全運転技術と
実技指導力の向上をめざす

第18回全国自動車教習所教習指導員安全運転競技大会

5月31日、6月1日の両日、鈴鹿サーキット交通教育センター（三重県鈴鹿市）で「第18回全国自動車教習所教習指導員安全運転競技大会」（主催：本田技研工業（株）安全運転普及本部、後援：一般社団法人 全日本指定自動車教習所協会連合会、本田技研工業（株）法人営業部）が開催された。同大会は、「安全運転指導力向上のための自己研鑽への動機づけ」と「教習所間の情報交換と交流」を目的に2001年より毎年開催されている。今大会には30都道府県84校から133人の選手が参加し、22校24人の教習指導員が審判員として協力した。開会式では、全日本指定自動車教習所協会連合会 横山努専務理事から挨拶をいただき、大会会長であるHonda安全運転普及本部 竹内弘平本部長が「日頃の成果を十分に発揮されることを期待します」と選手に向けてエールを送った。

競技は普通二輪部門、大型二輪部門、四輪部門と3つの部門に分かれ、教習指導員としての正確な判断力と操作で各4つの種目で安全運転技術を競った。

二輪競技：ブレーキング、パイロンスラローム、一本橋、コーススラローム

四輪競技：ブレーキング回避、フィギア、縦列駐車・車庫入れ、コーススラローム

また、4つの乗車競技に加え、グループディ



Honda 安全運転普及本部 竹内弘平本部長

スカッション形式で意見を出し合い、安全な実技講習会運営について学び合う「実技指導力」を実施した。

普通二輪部門総合1位のマジオドライバーズスクール多摩校（東京都）・関村修平さん、同2位の安城自動車学校（愛知県）・小山哲郎さん、大型二輪部門総合1位の月の輪自動車教習所（滋賀県）・河端淳史さん、同2位のドリームモータースクール昭和（長野県）・小澤敬祐さん、四輪部門総合1位のドリームモータースクール昭和（長野県）・落合誠さん、同2位の新東京自動車教習所（東京都）・櫻澤甲介さんには、全日本指定自動車教習所協会連合会会長賞も贈呈された。



実技指導力



HONDA 全国自動車教習所教習指導員安全運転競技大会

主催：本田技研工業株式会社 安全運転普及本部
後援：一般社団法人 全日本指定自動車教習所協会連合会 本田技研工業株式会社 法人営業部

全国の教習指導員133人が普通二輪部門、大型二輪部門、四輪部門に分かれ競技に取り組んだ



普通二輪部門 一本橋



大型二輪部門 コーススラローム



四輪部門 コーススラローム



四輪部門 フィギア